

決算説明資料

2026年度第1四半期決算概況

2026年8月4日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

I.2026年度第1四半期決算

2026年度 第1四半期決算 サマリー	4
連結業績概要（対前年同期）	5
セグメント別売上収益	6
セグメント別コア営業損益	7
コア営業損益分析（セグメント別）	8
連結財政状態計算書	13
連結キャッシュ・フロー	14

II.2026年度上期予想

2026年度上期 事業環境見通し	16
2026年度 業績予想サマリー	17
業績予想概要	18
セグメント別売上収益・ コア営業利益予想（上期）	19

（参考資料）

セグメント別売上収益（四半期推移）	21
セグメント別コア営業損益（四半期推移） ..	22
売上収益分析（セグメント別）	23
主要グループ会社業績動向	28
地域別農薬売上収益	29

I . 2026年度第1四半期決算

コア営業利益

単位:億円

25年度1Q	26年度1Q
277	623

親会社の所有者に帰属する四半期利益

単位:億円

25年度1Q	26年度1Q
△45	408

- コア営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益ともに前年同期比で大幅に増加、改善
- 第1四半期としては、過去2番目の高水準の業績
- コア営業利益は前年同期比でエッセンシャル&グリーン（ペトロ・ラービグ社 交易条件改善、一時的な在庫評価益）が大きく改善
- アグロ&ライフについては、農薬出荷堅調、飼料添加物の交易条件改善
- ICT&モビリティについては、半導体不足の影響によりディスプレイ関連材料の出荷は減少したものの、半導体プロセス材料の出荷は増加
- 当社業績が順調なこと、及び住友ファーマの増資（978億円）もあり、DEレシオは0.80倍に大きく改善（2026/3末 DEレシオ 0.93）

連結業績概要（対前年同期実績）

単位:億円

	25年度1Q	26年度1Q	増減	増減率
売上収益	5,261	5,782	521	9.9%
コア営業利益	277	623	347	125.2%
（うち持分法による投資損益）	(△98)	(122)	(220)	-
非経常項目（以下内訳）	△22	△13	9	-
（事業構造改善費用）	(△27)	(△11)	(17)	-
（その他）	(5)	(△2)	(△7)	-
営業利益	255	610	356	139.8%
金融損益（以下内訳）	△196	△7	189	-
（為替差損益※デリバティブ損益含む）	(△164)	(16)	(180)	-
（その他）	(△33)	(△23)	(9)	-
税引前四半期利益	58	603	545	936.8%
法人所得税費用	△19	△90	△70	-
四半期利益	39	514	475	-
非支配持分損益	△84	△106	△22	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	△45	408	453	-
ROE	△0.5%	3.9%		
平均為替レート（円/USD）	144.59	159.57		
ナフサ価格（円/KL）	66,300	118,500		
海外売上比率	68.5%	67.7%		

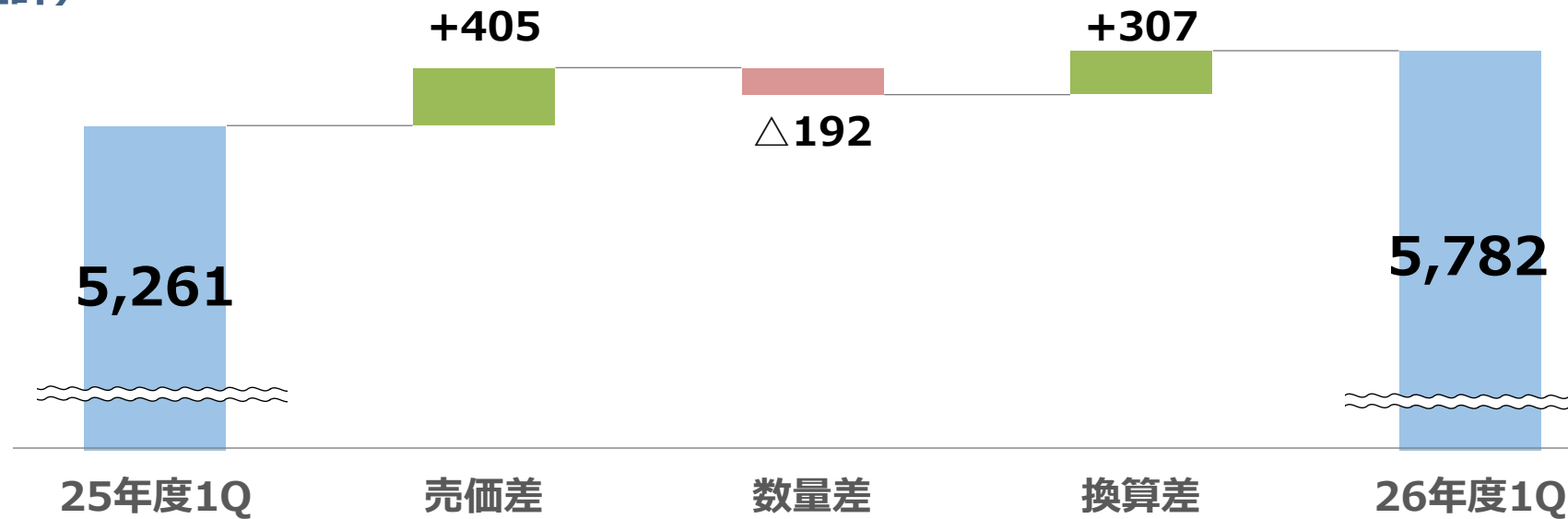
セグメント別売上収益

単位:億円

	25年度1Q	26年度1Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
アグロ&ライフソリューション	969	1,090	121	12.5%	70	△15	66
ICT&モビリティソリューション	1,374	1,486	112	8.1%	5	21	86
アドバンストメディカルソリューション	91	104	14	15.0%	0	13	0
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	1,654	1,702	48	2.9%	335	△347	60
住友ファーマ ※	1,074	1,290	216	20.2%	△5	126	95
その他	100	110	10	10.2%	0	10	0
合計	5,261	5,782	521	9.9%	405	△192	307

※再生・細胞医薬のCDMO事業が本セグメントに属さないこと等により住友ファーマ株式会社が公表した売上収益と異なります。

増減分析（全社計）



セグメント別コア営業損益

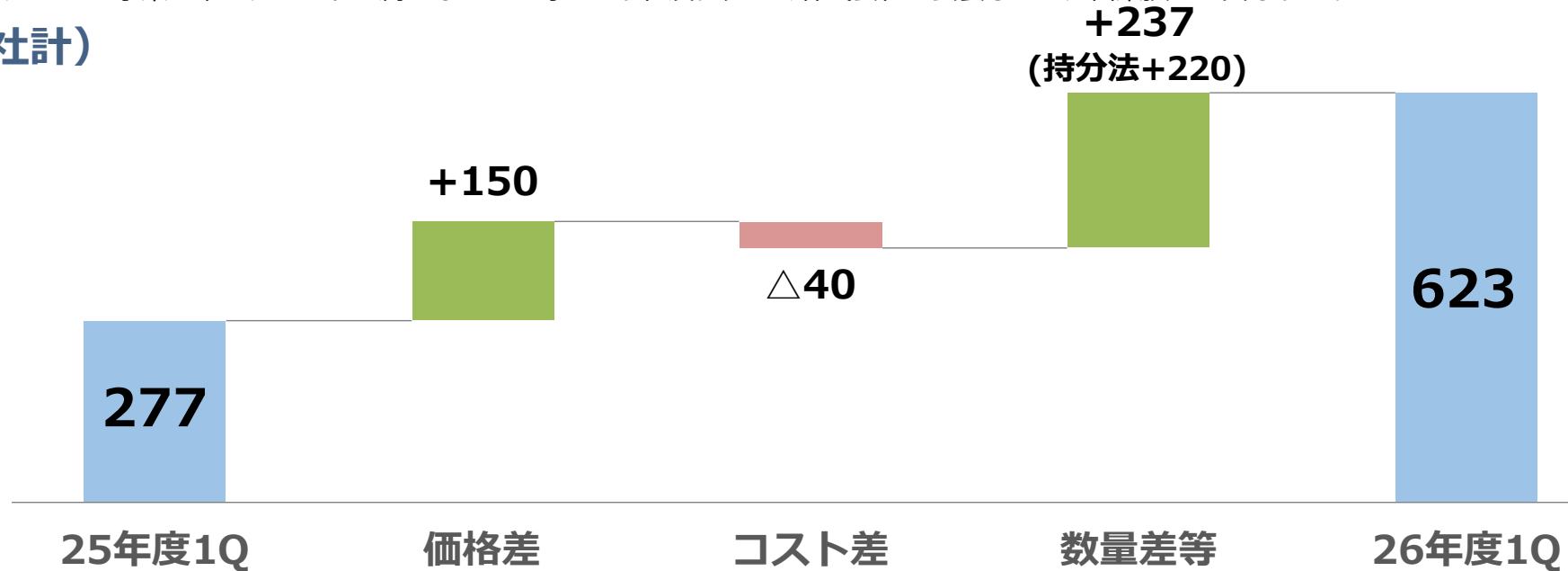
7

単位:億円

	25年度1Q	26年度1Q	増減	価格差	コスト差	数量差等
アグロ&ライフソリューション	22	96	74	65	0	9
ICT&モビリティソリューション	184	130	△53	△35	△15	△3
アドバンストメディカルソリューション	△10	△19	△9	△5	0	△4
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	△55	272	327	140	15	172
住友ファーマ ※	210	188	△22	△5	△40	23
その他 全社費用等	△74	△45	30	△10	0	40
合計	277	623	347	150	△40	237

※再生・細胞医薬のCDMO事業が本セグメントに属さないこと等により住友ファーマ株式会社が公表したコア営業損益と異なります。

増減分析（全社計）

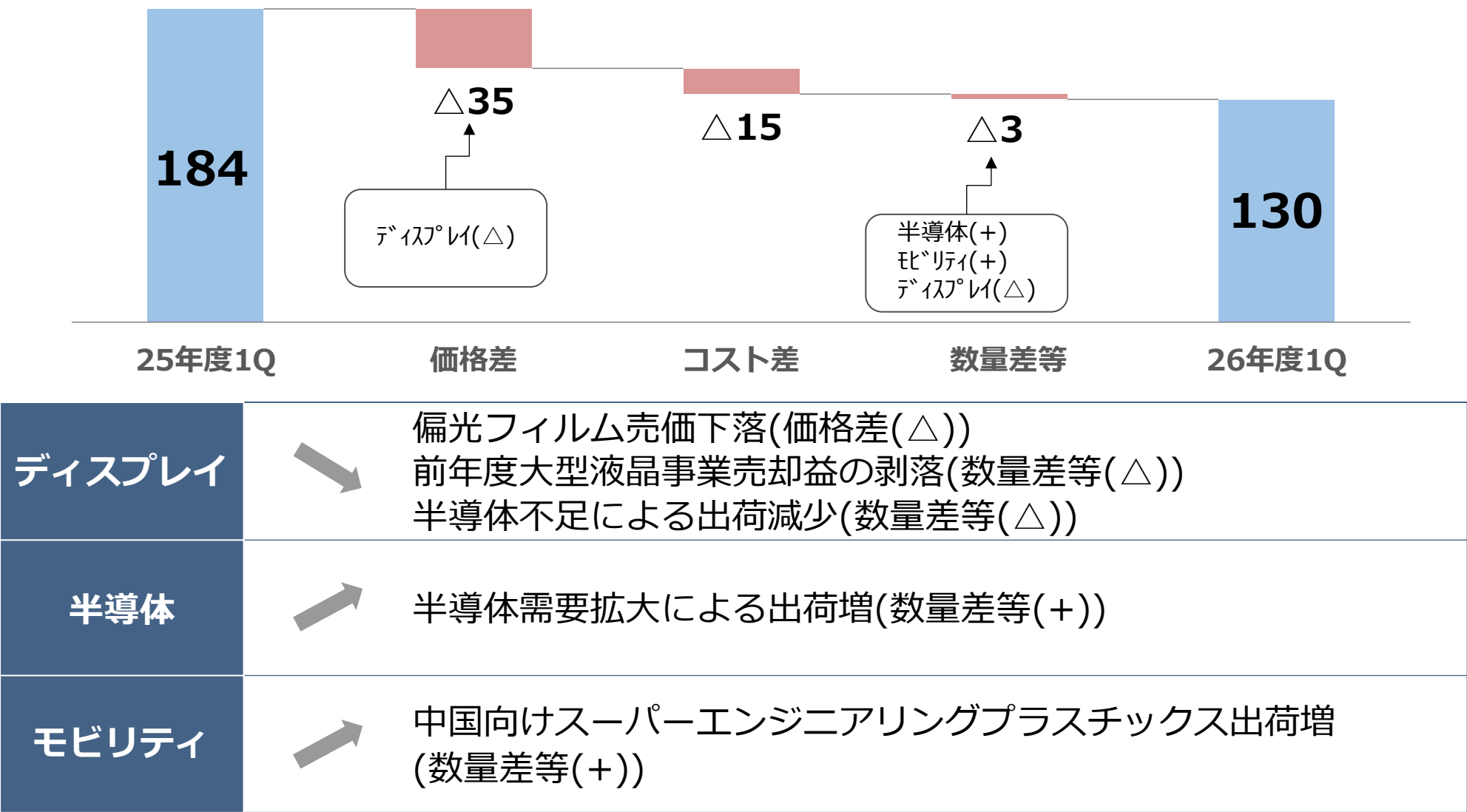


26年度第1四半期コア営業損益 96億円 (前年同期比+74億円)



農薬	農薬出荷堅調(数量差(+))
飼料添加物	交易条件改善(価格差(+))

26年度第1四半期コア営業損益 130億円 (前年同期比△53億円)



26年度第1四半期コア営業損益 △19億円（前年同期比△9億円）



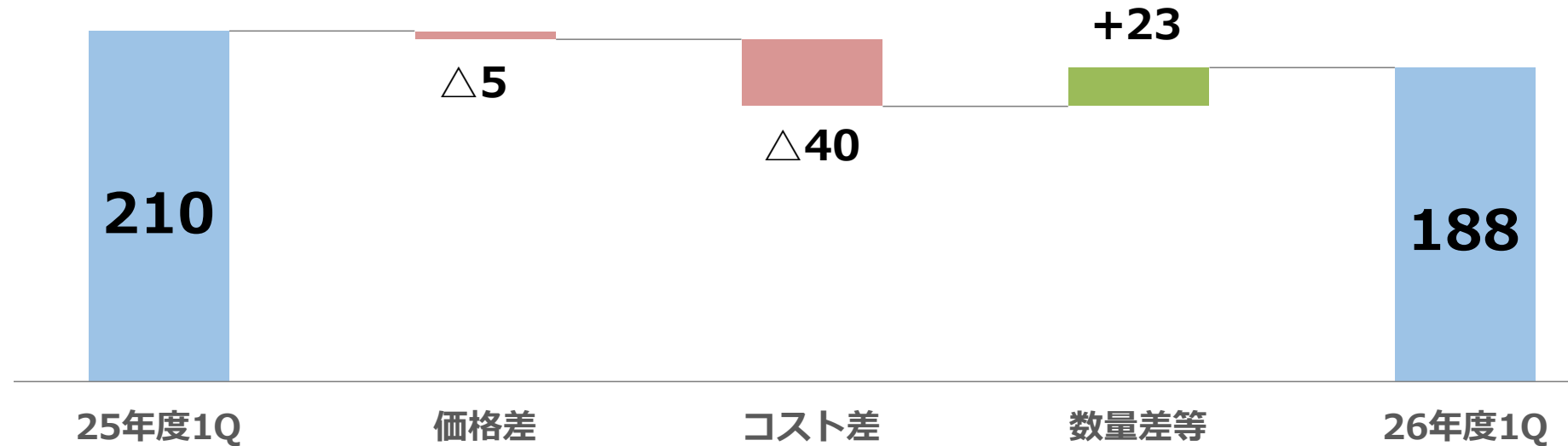
中東情勢影響に伴う交易条件悪化(価格差(△))
医薬品原薬・中間体販売構成の違い(数量差等(△))

26年度第1四半期コア営業損益 272億円（前年同期比+327億円）



日本	➡	交易条件改善(価格差(+))
シンガポール	➡	交易条件改善(価格差(+))
サウジアラビア	➡	精製マージンの改善等により持分法損益改善(数量差等(+))

26年度第1四半期コア営業損益 188億円（前年同期比△22億円）



北米販間費増(コスト差(△))

研究開発費増(コスト差(△))

前年度アジア事業一部売却影響(コスト差(+)、数量差等(△))

オルゴビクス(進行性前立腺がん治療剤)・ジェムテサ(過活動膀胱治療剤)拡販
(数量差等(+))

為替影響(数量差等(+))

単位:億円

	26.3月末	26.6月末	増減		26.3月末	26.6月末	増減
流動資産	15,077	16,591	1,513	負債	21,684	22,011	327
現金及び現金同等物	2,086	2,232	146	営業債務及びその他の債務	4,644	5,501	857
営業債権及びその他の債権	6,087	6,445	359	有利子負債	11,515	11,322	△193
棚卸資産	5,955	6,436	481	その他	5,525	5,188	△337
その他	950	1,477	527	資本	12,367	14,124	1,758
非流動資産	18,973	19,544	571	株主資本	7,449	8,079	631
有形固定資産	7,707	7,776	69	その他の資本の構成要素	2,638	2,949	312
のれん及び無形資産	5,010	5,025	15	非支配持分	2,280	3,096	816
その他	6,256	6,744	488				
資産合計	34,050	36,135	2,085	負債及び資本合計	34,050	36,135	2,085
				親会社所有者帰属持分比率	29.6%	30.5%	0.9%
				D/E レシオ (倍)	0.93	0.80	△0.13

単位:億円

	25年度1Q	26年度1Q	増減
営業キャッシュ・フロー	240	50	△190
投資キャッシュ・フロー	△459	△ 492	△33
フリー・キャッシュ・フロー	△219	△ 443	△223
財務キャッシュ・フロー	△492	556	1,048
その他	△9	33	42
現金及び現金同等物の増減	△721	146	867
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,426	2,232	806

Ⅱ. 2026年度上期予想

経済情勢

- テクノロジー分野への投資が世界経済を底堅く支えているものの、中東情勢の悪化をはじめとする地政学リスクにより先行きは依然不透明な状況

主要事業環境

農薬



足下の出荷は堅調に推移するも、流通在庫の滞留状況は地域によってばらつきあり

飼料添加物



1 Qは交易条件の改善がみられたものの、原料価格の高騰が継続しており先行きは不透明

ディスプレイ



メモリ等の部材調達環境の悪化によりモバイル市場が軟調

半導体



シリコン半導体はAI関連領域を中心に堅調

石化・原料市況



足下の生産予定に必要な数量は確保されるも当面は原料高騰の影響が継続

上期業績は堅調な見通し

コア営業利益

単位:億円

2025年度 上期実績	2026年度 上期予想 (8月時点)	2026年度 年間予想 (5月時点)
1,087	1,250	2,150
※うち事業売却益除き (約500)	(約1,200)	(約2,100)

親会社の所有者に帰属する四半期利益

単位:億円

2025年度 上期実績	2026年度 上期予想 (8月時点)	2026年度 年間予想 (5月時点)
397	700	700

- コア営業利益は、事業売却益除きで**前年同期比倍増**
- 親会社の所有者に帰属する利益は、5月公表予想を**上期で達成見込み**
- エssenシャル&グリーン（ペトロ・ラービグ社）**取引条件改善**、一時的な在庫評価益が大きく改善
- アグロ&ライフについては、**農薬出荷堅調**、**飼料添加物**の**取引条件改善**
- ICT&モビリティについては、半導体不足の影響によりディスプレイ関連材料の出荷は減少したものの、**半導体プロセス材料**の出荷は増加
- 上期決算発表時に、年間公表予想を改めて説明予定

単位:億円

	2025年度 上期実績	2026年度 上期予想 (8月時点)	増減	2026年度 年間予想 (5月時点)
売上収益	10,954	11,700	746	23,600
コア営業利益	1,087	1,250	163	2,150
非経常項目	△50	△30	20	△400
営業利益	1,037	1,220	183	1,770
親会社の所有者に帰属する当期利益	397	700	303	700
平均為替レート (円/USD)	146.02	157.00		155.00
ナフサ価格 (円/KL)	64,800	104,000		92,000
配当金	中間	6.0円		8.0円
	期末	7.5円		8.0円
	年間	13.5円		16.0円

セグメント別売上収益・コア営業利益予想

19

単位:億円

		2025年度 上期実績	2026年度 上期予想 (8月時点)	差異	2026年度 年間予想 (5月時点)
アグロ&ライフソリューション	売上収益	2,130	2,600	470	5,600
	コア営業利益	112	290	178	650
ICT&モビリティソリューション	売上収益	2,835	3,100	265	5,900
	コア営業利益	331	280	△51	550
アドバンストメディカルソリューション	売上収益	211	280	69	600
	コア営業利益	△14	0	14	30
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	売上収益	3,291	3,000	△291	5,600
	コア営業利益	△186	420	606	200
住友ファーマ	売上収益	2,261	2,500	239	5,400
	コア営業利益	973	320	△653	940
その他 全社費用等	売上収益	226	220	△6	500
	コア営業利益	△130	△60	70	△220
合計	売上収益	10,954	11,700	746	23,600
	コア営業利益	1,087	1,250	163	2,150
	(うち事業売却益除き)	(約500)	(約1,200)		(約2,100)

(参考資料)

セグメント別売上収益（四半期推移）

21

単位:億円

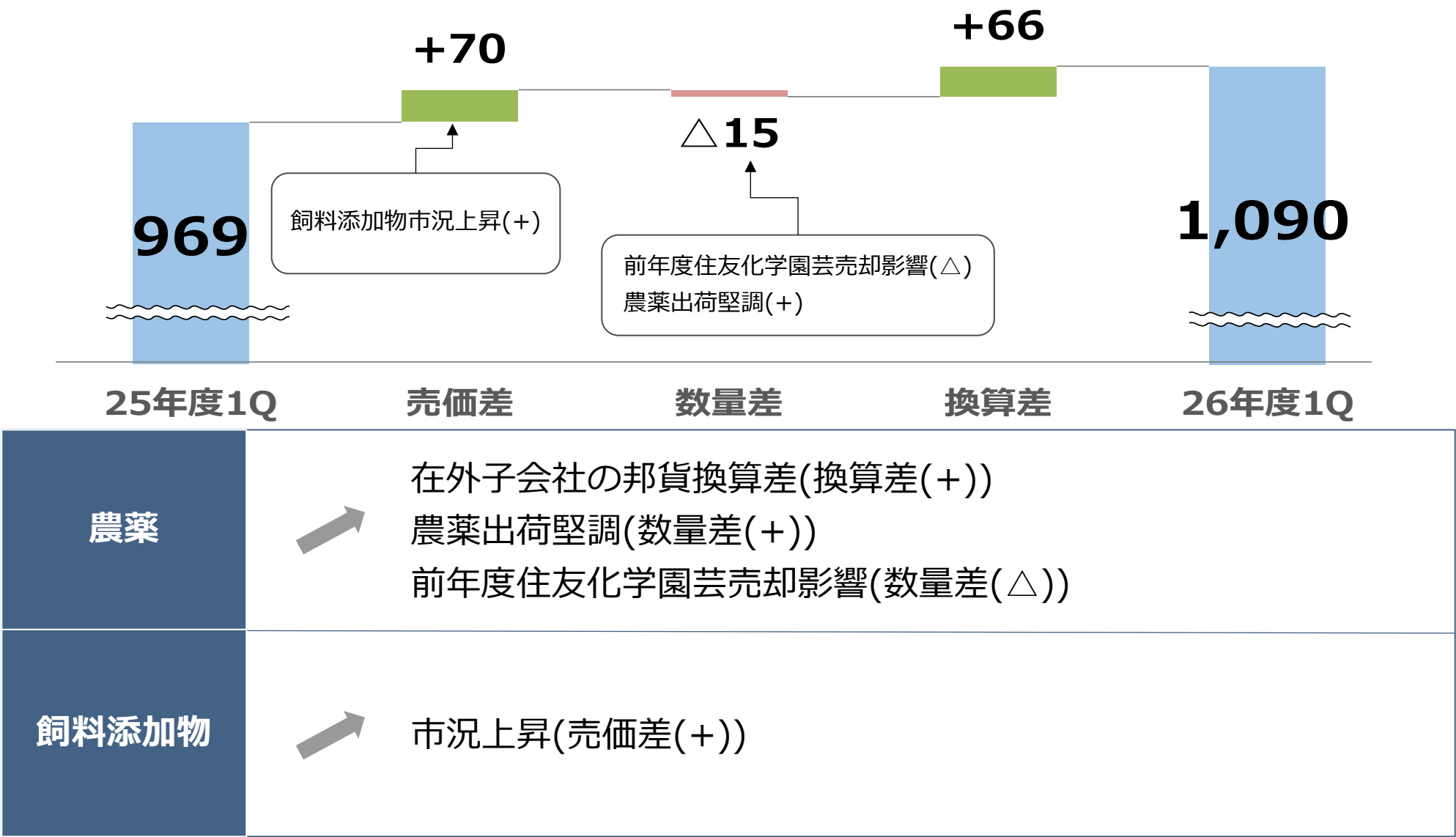
	2025年度				2026年度		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	上期予想 (8月時点)	年間予想 (5月時点)
アグロ&ライフソリューション	969	1,161	1,339	1,724	1,090	2,600	5,600
ICT&モビリティソリューション	1,374	1,461	1,483	1,424	1,486	3,100	5,900
アドバンストメディカルソリューション	91	121	145	230	104	280	600
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	1,654	1,638	1,818	1,678	1,702	3,000	5,600
住友ファーマ	1,074	1,187	1,203	1,055	1,290	2,500	5,400
その他	100	126	121	111	110	220	500
合計	5,261	5,693	6,109	6,222	5,782	11,700	23,600

セグメント別コア営業損益（四半期推移）

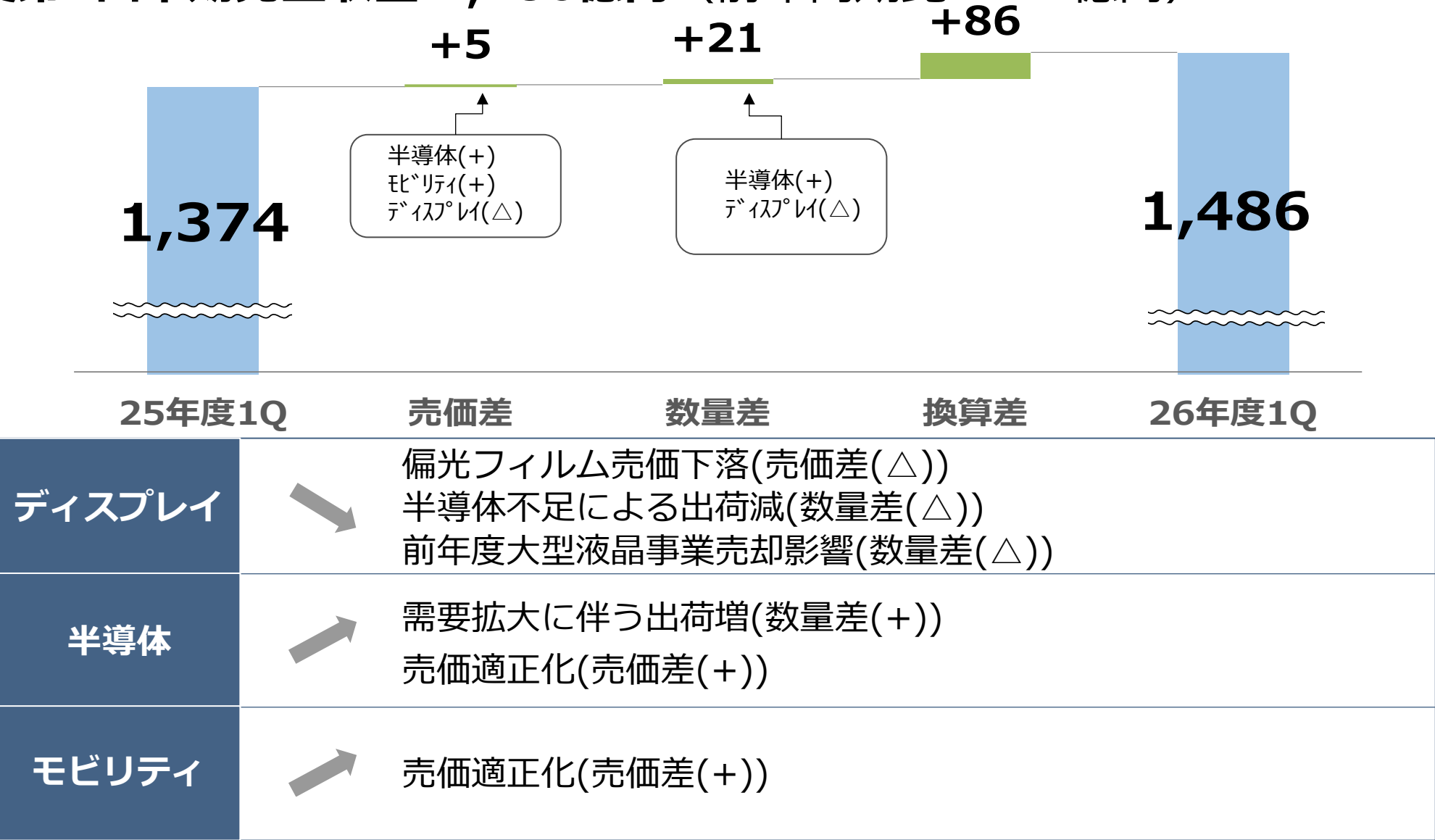
単位:億円

	2025年度				2026年度		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	上期予想 (8月時点)	年間予想 (5月時点)
アグロ&ライフソリューション	22	90	169	282	96	290	650
ICT&モビリティソリューション	184	147	134	65	130	280	550
アドバンストメディカルソリューション	△10	△4	17	25	△19	0	30
エッセンシャル&グリーンマテリアルズ	△55	△131	384	△53	272	420	200
住友ファーマ	210	763	139	△28	188	320	940
その他 全社費用等	△74	△55	△62	△76	△45	△60	△220
合計	277	810	781	215	623	1,250	2,150

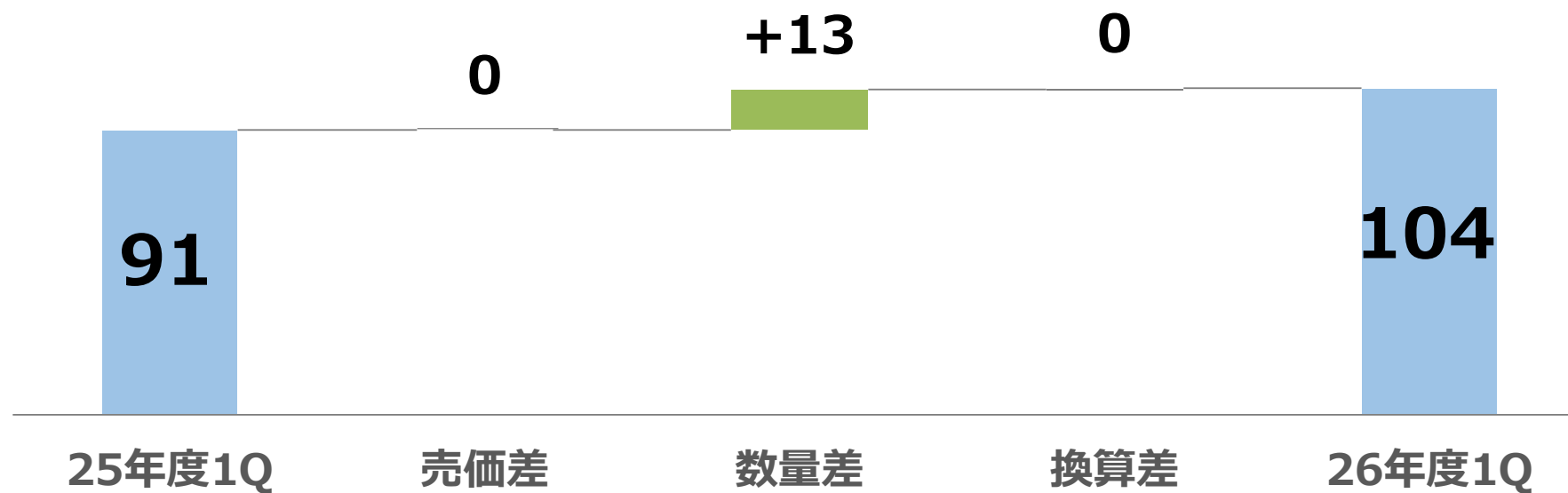
26年度第1四半期売上収益 1,090億円 (前年同期比+121億円)



26年度第1四半期売上収益 1,486億円 (前年同期比+112億円)

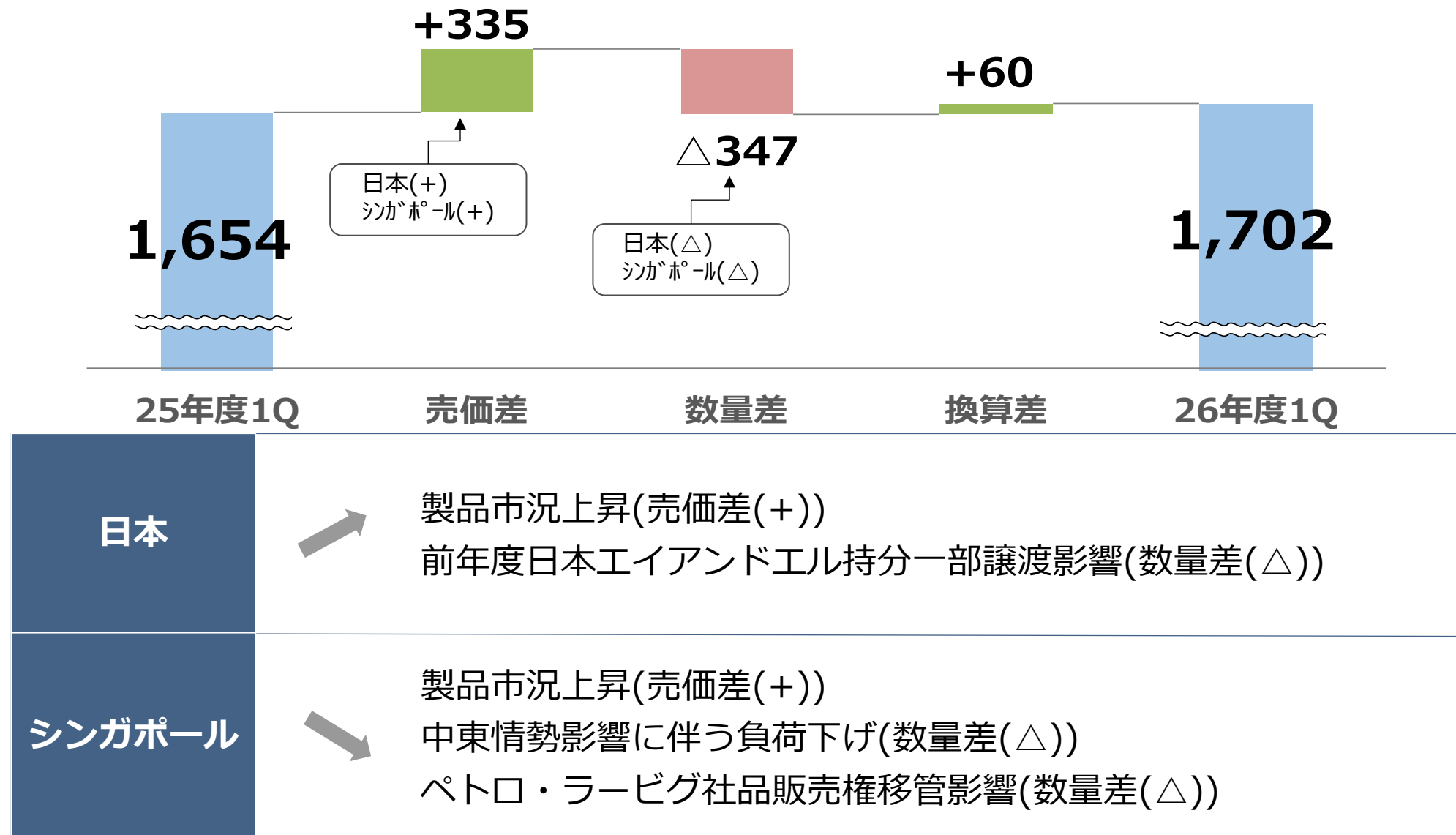


26年度第1四半期売上収益 104億円（前年同期比+14億円）

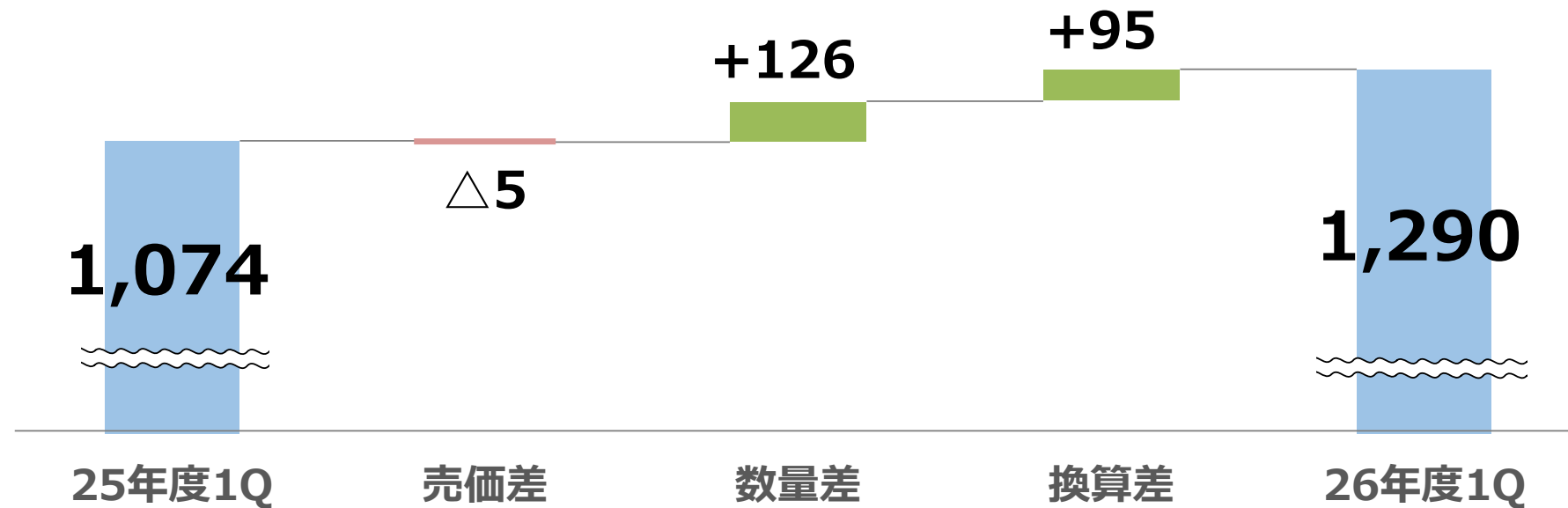


医薬品原薬・中間体の出荷時期の違い(数量差(+))

26年度第1四半期売上収益 1,702億円（前年同期比+48億円）



26年度第1四半期売上収益 1,290億円（前年同期比+216億円）



オルゴビクス(進行性前立腺がん治療剤)・ジエムテサ(過活動膀胱治療剤)拡販
(数量差(+))

前年度アジア事業一部売却影響(数量差(△))

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	25年度1Q	26年度1Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	197	196	↗ 交易条件改善
PCS (百万USD)	578	498	↗ 交易条件改善
ラービグ・リファイニング・アンド・ ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	11,493	14,850	↗ 精製マージンの改善
東友ファインケム (億KRW)	5,138	5,124	→ ほぼ横ばい
スミトモ・ケミカル・ブラジル・ インダストリア・キミカ (百万BRL)	361	437	→ ほぼ横ばい
スミトモ・バイオラショナル・ カンパニー (百万USD)	191	179	→ ほぼ横ばい

単位:億円

	25年度1Q	26年度1Q	増減	主な差異要因
日本	160	173	13	販売時期の前倒しによる販売数量増加
北米	76	81	5	
中南米	120	167	47	販売時期の前倒しによる販売数量増加
アジア (インド含む)	182	192	10	
欧州その他	73	72	△ 1	
合計	611	685	74	

※2026年4月に実施した米国バイオラショナル事業の再編に伴い、一部製品を農薬事業と生活環境事業の間で組替えました。2025年度1Q実績は、当該組替を反映した数値です。